



9期・本間 泉さんのカフェ Oveja cafe (オベハカフェ)



奈良県五條市にある、さかもと養鶏の白鳳卵で作ったシフォンケーキと、スペシャルティコーヒーの堀口珈琲の豆を使い、注文が入ってから豆を挽いてハンドドリップで淹れているコーヒーが自慢です。

所在地: 〒244-0805 横浜市戸塚区川上町579-1
 フェイスブック: https://www.facebook.com/p/Oveja-cafe-100057380331178/?locale=ja_JP
 インスタグラム: https://www.instagram.com/oveja_cafe?utm_source=qr&igsh=enJiaWViYzV3MHnp
 アクセス: JR東戸塚駅西口より徒歩10分



ほおずりしたくなる
シフォンケーキ



お店のおすすめ

スペシャルティ
コーヒー



昭和のプリン



季節限定の
スイーツも
あります。
(価格は変動あり)



※卵を使用するスイーツにはすべて
白鳳卵を使用しています。



【経営者ご紹介】

本間 泉さん

昭和61(1986)年3月・第9期卒業(3年9組・吉井級)

理科部天文班

戸塚バスセンターの混雑を避けるため、いつも8時には学校に着いていました。よく早弁をしてお昼休みにバレー部と体育館でバレーをしていました。1年生の文化祭では男子が女装して接客する喫茶さつきという喫茶店をしていたのが今となっては良い(?)経験です(笑)

----- 新企画「わたしの店・会社」第1弾は、9期・本間 泉さんのカフェ・Oveja cafeをご紹介します。どうぞよろしくお願いします。

本間> よろしくお願ひします。

----- まず、こちらのカフェ・Oveja cafe はどんなカフェなのか、教えてください。

本間> 堀口珈琲のスペシャルティコーヒーの豆を使用しています。注文が入ってから豆を挽きハンドドリップで淹れています。またスイーツは奈良県五條市にあるさかもと養鶏の白鳳卵を使用し作っています。ほおずりしたくなるシフォンケーキと昭和のプリンがウリです。

----- Oveja cafe は2015年8月7日に開業されたそうですが、それはどのような経緯だったのですか。

本間> 東戸塚は個人の喫茶店がなかったということと同級生が気軽に集まれる場所を作りたいから始めました。(管理栄養士として病院などで働いたこともあるので料理やお菓子などを作ることが好きでした)。



----- 本間さんは、どのような経緯でこちらのカフェをやられるようになったのですか。

本間> 紅茶が好きだったので始めは紅茶のお店にしようと考えていましたが 開業のために受けた公的な教育訓練の中にカフェ部門があり、そこで先生に珈琲の面白さを教えていただき、珈琲主体でやることにしました。そこを卒業してからは6年ほど元町にある caravan coffee で修行をしていました。お店をやりたいと思い始めてから8年かかりました。

----- こちらのカフェの名前の由来を教えてください。

本間> 私が去年でお店の名前をひつじにしたかったので色んな国の言葉を調べ、スペイン語でひつじが oveja でかつこ良かったということと、検索したら日本に Oveja cafe というカフェが他になかったの(今はあるかも)。



名前の通り、店内はひつじグッズでいっぱい

----- どのようなカフェでありたいと考えていらっしゃいますか。

本間> こんなコンセプト、と考えたわけではありませんが、私が美味しいと思ったものを提供しています。お店を作った目的でもある、お友達のお家でのんびりお茶しているような空間でありたいと思っています。

----- こちらのカフェの自慢できる点はどんな点ですか。

本間> 人と人との繋がりのきっかけになれているところですね。同級生が集まれる場所と考えて始めましたが、今では老若男女のお客様にご利用いただいています。



お一人でのお客が多いのですが、皆さん顔見知りになられて楽しく皆でおしゃべりすることもあります。初めて来たお客様でも、遠慮なくおしゃべりに加われる雰囲気が出て、そんな中で、赤ちゃん連れのお母さん同士で意気投合したり、ちょっとした話題の中から、「そのことだったら、あの人に話してみたらいいよ」となって、新しい繋がりが生まれたり、といったことが起こるお店になっています。近所の子供も達が、子どもだけで来てくれることもありますよ。

----- 今までやってこられた中で印象に残っているエピソードなどありましたら、お聞かせください。

本間> オープンしてすぐ、世界中のカフェ巡りをされている方が、オバハを訪れるためにわざわざ仙台から東戸塚まで来てくださったのですが、その方がまた最近ご来店してくださったこと。近くの小学校の子供たちが、毎年、町探検でお店の調査に来てくれること。

子供たちの調査の“成果”を
色々見せていただきました



----- これから何か新しく取り組もうとされていることがありましたら、教えてください。

本間> メニューに関して、新しいものを常に考えていきたいと思っています。元々、スイーツなどを自分で考えて作ることが好きなので、新しい食材を紹介してもらったりすると、これを使ってこんなものを作ってみたらどうだろう、と想像が広がります。

----- 高校時代の思い出等ありましたら、お聞かせください。

本間> 1年生の時の本郷台から江ノ島までの歩き遠足は、ゆっくり歩きすぎてかなり遅く到着して怒られた記憶があります。2年では修学旅行委員をしました。お弁当をどれにするか決めることができて楽しかったです。ちょうど前年のJTBから近ツリに変わって、行先もそれまでの広島ではなく東尋坊、上高地、飛騨高山、馬籠妻籠になりました。私達の学年は12クラスだったので3コースに分かれる必要があり、人気が集中した A コースを目指したじゃんけん大会を中庭で開催し、盛り上がりました。旅行中、たしか上高地近くのお寺だったと思いますが、別のクラスの男子がお寺の鐘を勝手に鳴らして、軽トラで現れたお坊さん達に先生と生徒が連れて行かれたことがあったのを記憶しています(笑)。

----- 高校時代の経験で今に役立っていることがありましたら、教えてください。

本間> 修学旅行委員をしていた時、「修学旅行中はずっと制服」と決められていた中、「班別自主行動では私服が適している」と皆で利点を挙げて先生方を説得し、その日だけ私服を許可してもらったことがあります。委員会でのそうした活動などを通じて“自分達で考えて実行する”という力がついたのではと思います。また、社会の中村哲也先生の授業で、ニュースや新聞で報道されていることも伝える人間が書いたものだから必ずしも正しいとは限らない、疑ってかかることが必要だ、とおっしゃっていたことは、今も私がニュースなどを見るときの態度に生きていると思います。

----- この記事を読んでらっしゃる同窓生の方にメッセージなどあればお願いします。

本間> 初めまして9期生の本間です。同級生はもちろんのこと卒業生の皆さんに来ていただけると嬉しいです。金井ノートを作りましたのでメッセージを書いて下さいね。



----- ご協力ありがとうございました。

